

基本情報

案件名:伊万里市国見台公園総合整備基本計画の作成について

<p>現状</p>	<p>国見台公園は、昭和33年3月に運動公園としての整備計画構想が策定され、その後、運動施設として陸上競技場を整備し、昭和38年第16回佐賀県民体育大会のメイン会場として利用された。</p> <p>以後、市民スポーツ熱が高まり「スポーツ都市宣言」を契機に、施設の整備充実が必要となったことから、各種運動施設の計画的な整備を行うべく、昭和43年に都市計画事業認可を受け、運動公園整備に着手し、途中経済情勢の変化や資材単価の高騰などにより事業完了が長期化した。昭和59年度に施設整備がひとまず完了した。</p> <p>近年は、令和6年度に開催される「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」の開催に伴い野球場や球技場の整備は進んでいるが、体育館や武道館については、建替え時期を迎えながらも未整備の状況となっている。</p>
<p>問題点、課題</p>	<p>国見台公園は、市内中央部の基幹公園として位置付けている重要施設だが、公園に位置する体育館と武道館は、老朽化が進行し、建替えの時期を迎えることに加え、観覧席も設置されておらず、避難所として指定しているものの空調設備も完備していないことから、機能の充実が求められている。</p> <p>また、公園全体においても市民ニーズが多様化する中、更なる利活用が期待できる低未利用区域を整備することで、時代に即したより魅力ある公園とするため、体育館と武道館の建替えを核とした公園全体の総合的な整備を進める必要がある。</p>
<p>施策の策定にあたっての考え方</p>	<p>本計画の対象範囲は、公園区域全体とするが、その中でも特に老朽化により建替え時期を迎えている体育館及び武道館と弓道場、ウォーキングなどで利用されているものの更なる利活用が期待できる公園南西部の緑地区域、さらにそれらを繋ぐ管理道路・園路を対象とする。</p> <p>なお、すでに整備が完了している野球場、庭球場、球技場と、別途長寿命化計画に基づき改修を予定している陸上競技場については、本計画の対象から除く。</p>